

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	家電量販店（店長）	・エコポイント制度の更なる浸透により、今後については良くなる。
		家電量販店（地区統括部長） 観光名所（職員）	・エコポイント制度に伴うポイント還元の影響で、今月よりは需要が上向く。 ・新型インフルエンザの影響や世界的な景気低迷も一段落しており、国内景気もやや好転しつつあることから、今後の行楽シーズンに期待できる。
	変わらない	商店街（代表者）	・消費の冷え込みが続いており、回復の兆しがみられない。売上減や資金繰りに耐えられない地場企業や小売店の倒産、廃業が続いており、負の連鎖となっていることから、今後についても変わらない。
		商店街（代表者）	・秋物のトレンドが出てきているものの、景気への不安感が解消されないなかで、客が秋物の正価品を買うかどうか分からない面がある。
		商店街（代表者）	・客からは、まだしばらくこの状態が続くだろうという話が出ているため、今後も変わらない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・ここ2～3か月、前年比で売上の減少幅が縮小しており、今後もしばらくはこのような状況が続く。
		百貨店（販売促進担当）	・百貨店業界も消費者の低価格志向の強さに対応した対策を講じており、徐々に効果が出てくることが見込まれる。ただ、買上客数が上向いてきても、単価の低下に歯止めがかかるまでには至らず、売上としてはわずかな改善にとどまる。
		百貨店（役員）	・例年の3倍の降雨量となる天候不順の影響で、夏物衣料が全滅するなか、市が発行したプレミアム付き商品券の影響で、多少の消費回復につながったこともあり、全体として極端なマイナスとはなっていないことから、今後も変わらないまま推移する。
		スーパー（店長）	・景気が底を打ち、回復基調にあるとの報道もあるが、現場では、まだ数字となって表れておらず、実感も得られない状況であることから、今後も変わらないまま推移する。
		スーパー（企画担当）	・8月の総選挙結果への期待もあるが、選挙のある月の売上は期待できない。
		コンビニ（エリア担当）	・前年より気温が低く、雨の日が多いため、来客数が伸びない一方で、朝の工事に向かう男性客が増えてきている。このまま冷夏で終われば、売上への影響は大きいですが、工事などが増えることで、売上の減少分をカバーできるため、全体としては変わらないまま推移する。
		乗用車販売店（営業担当）	・客の購買意欲が高まっているが、国の補助による一時的なものであり、景気が特に上向きになっている訳ではない。補助がなくなれば、以前の状態に戻ることも懸念されるため、今後についても変わらないまま推移する。
		高級レストラン（スタッフ）	・総選挙の結果次第では、接待客がある高級店には影響が出てくる。
		観光型ホテル（経営者）	・9月の連休を除けば、3か月先までの予約状況が例年に比べて低調なため、今後も変わらないまま推移する。
		旅行代理店（従業員）	・取扱人員数の伸び悩みと商品単価の低下が続いていることから、今後も変わらないまま推移する。
		旅行代理店（従業員）	・経費削減のため、企業や官庁の出張が前年比75%程度の売上となっており、年度内はこの傾向が続く。また、個人需要も低単価傾向が続いており、下期の商品への問い合わせもあまりみられない。このため、現在の悪い状態が当分続く。
		旅行代理店（従業員）	・新型インフルエンザや金融危機の影響からは持ち直してきつつあるが、8～9月の受注状況が前年並みであることから、今後2～3か月先については変わらない。
		タクシー運転手	・タクシーの需要が減っているなか、4月から営業を始めた新規業者が増車で台数を増やしている。また乗務員は集まっていないようであるが、競争がますます激しくなることが見込まれるため、今後も厳しいまま変わらない。
		タクシー運転手	・市内の景気は相変わらず低調で推移している。特に、夜の繁華街は客が全く見当たらない状況であることから、今後についても変わらないまま推移する。
通信会社（企画担当）	・競合他社の動きが低調であるものの、自社も他社と差別化できるサービス、商品を出し切れていないため、今後も変わらないまま推移する。		

		観光名所（役員）	・観光入込客が低迷している傾向に変化はないことから、今後も当面底の見えない状況が続く。
		美容室（経営者）	・総選挙を控えてどのような状況になるのかと様子を見る傾向がある。そのため現在の状況が当分の間、継続する。
やや悪くなる		百貨店（売場主任）	・前年と比べて、雇用条件の悪化や給与の減少がみられるなか、残暑の状況によっては、秋物の動きにも影響が出てくる懸念される。
		スーパー（店長）	・客の節約志向が強まるなか、夏のボーナス商戦も全く盛り上がりが見られなかった。今後もこうした傾向は続き、売上、利益共に厳しい状況が続く。
		スーパー（役員）	・給料や冬のボーナスなど、収入の増える様子が全くみられない。収入が増えない以上、消費が増えることにはならず、客の財布のひもはますます固くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・製造業の低迷がまだ継続していることに加えて、夏休みで家計の支出が増加した後であることから、客単価の低下や価格競争の激化が今以上に強くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も低温多雨が続くことになれば、農業に対して大きな影響が出ることが懸念される。嗜好品などの単価の高い商品の売上が減少しているなか、秋の収穫に影響が生じることになれば、消費マインドが更に低迷する。
		乗用車販売店（従業員）	・一般家庭では収入の減少している人が多いことから、今後も販売量が減少する。
		観光型ホテル（経営者）	・前年からの不況が続くなか、新型インフルエンザが追い打ちをかけ、期待していた夏休みも総選挙の影響が懸念されている。一部では景気の下げ止まりとの見方もあるが、観光業にとってはマイナス材料の連続であり、今後についても、まだまだ先の見えない状況にある。
		観光型ホテル（スタッフ）	・観光客の宿泊予約状況を見ると、前年を大きく下回っている。消費が生活優先となっており、旅行に対する財布のひもが固くなっていることから、今後についてはやや悪くなる。
		旅行代理店（従業員）	・夏枯れの時期だが、更に総選挙を控えて、一部のマーケットで需要停滞が見込まれることから、今後についてはやや悪くなる。
		タクシー運転手	・来客数や電話注文の増える要素が思い当たらない。新規参入があったこともあり、今後は客の奪い合いが更に激しくなる。
		美容室（経営者）	・天候不順が続き、米作を中心とした農作物に悪影響を与えることが懸念される。基幹産業の1つである農業の状況によっては、家計消費にも陰りが生じることになる。
		設計事務所（所長）	・追加経済対策の対象となった一部の業界では、物が売れ始めたようだが、効果はその業界のみにとどまっており、経済全体に波及するには時間がかかるうえ、その効果も薄いことが見込まれる。民間を主体とした建築関係はまだまだ冷え切っており、今後についてはやや悪くなる。
悪くなる		スーパー（企画担当）	・総選挙の結果にもよるが、政局の動きが経済の更なる低迷を招く可能性もあり、消費環境としては依然として予断を許さない状況にある。
		スーパー（役員）	・不況が続くなか、現在の冷夏、長雨が回復しなければ、農家の収入も減少することになるため、今後の景気は良くならない。
		スナック（経営者）	・新型インフルエンザの影響で、観光客、個人客が少なくなったが、今後、秋から冬にかけて、新型インフルエンザがまた猛威を奮うことが懸念される。北海道観光が過去12年間で最低と言われるなか、外国人も大幅に減少している現在の状況から、今後良くなるとは思えない。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（団体役員）	・企業の経営体質の改善も進み、利益率の向上や設備投資を行う企業もみられるようになってきていることから、今後についてはやや良くなる。
		家具製造業（経営者）	・しばらく保留にされていた住宅、公共施設関連の案件が動き始めたことから、今後についてはやや良くなる。
		建設業（従業員）	・補正予算で発注された地域医療再生計画や公共建築物耐震化の業務が本格的に稼働し始めることが見込まれるため、今後については期待できる。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・国や地方公共団体の補正予算による公共事業の発注が本格化してくる。
変わらない		食料品製造業（役員）	・現状より受注が減る要因は見当たらないが、増える要因も見当たらないことから、今後も変わらないまま推移する。

	金属製品製造業（役員）	・5～6月にかけて、建築確認申請が伸び悩んでいることから、今後についても変わらないまま推移する。	
	建設業（経営者）	・工事の出方が官民共に遅れている。もし、政権が交代することとなり、公共工事の予算組替えなどが起きれば、大きな混乱が生じることが懸念される。	
	輸送業（支店長）	・客や同業者の動向をみると、大きく好転するような要素があまり感じられないことから、今後についても変わらないとみている。	
	通信業（営業担当）	・現在の身の回りの状況と業績動向から、最悪期は脱したものとみているが、今後、更に景況感が上昇するとの期待が持てる材料がないため、しばらくは現在のよう、良くも悪くもない状況が続く。また、総選挙結果に伴う影響も未知数であるため、社会、経済全体で様子見の傾向が強まる。	
	金融業（企画担当）	・公共工事の発注増加が見込まれることから、土木建設業界は持ち直す。しかし、住宅関連業界では老舗企業の倒産による余波が懸念される。観光関連業界では、9月の大型連休は期待できるが、全般的には旅行意欲が減退していることから、今後も低迷が続く。	
	司法書士	・現在の状況から判断して、急速に景気が回復することは見込めず、現在の良くない状態が続く。	
	司法書士	・総選挙の結果によっては政権交代が生じるなど、不確定要素が多いことから、新規の投資や消費が様子見される。	
	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・公共投資の見通しが不透明であることから、今後も変わらないまま推移する。	
	やや悪くなる	輸送業（営業担当）	・景気は底を打ったと言われているが、輸送業界ではそのような状況を実感できず、今後についてはやや悪くなる。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・発注元の大手企業が中国や東南アジアの企業への発注を増やし始めていることから、今後については、国内下請企業への発注量が更に減少する。
	悪くなる	司法書士	・新築建物を前提とする不動産の売買が減少したままであり、活性化する兆しがみられないことから、今後については悪くなる。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・不況下で道内のどの業界も業績を落としており、人件費が削減されるなか、中途採用はよほど良い人材でなければ採用せず、求職者にとっては厳しい状況にある。また、派遣も利用企業にとっては販売促進費又は外注費であり、経費削減の動きと相まって活用は相当絞り込まれる。
		人材派遣会社（社員）	・例年と比べて、求人数がかなり減少している。採用に対しても、企業は慎重になっており、スキルのある人材でなければ採用しないという企業が増えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・カラマツを使ったこん包用の製材需要が前年末から大きく落ち込んでいたが、受注生産がやや増加しており、今後の求人依頼につながることを期待されている。ただ、全体的に大きな変化はみられないことから、今後については変わらないまま推移する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・要因は特定できないものの、運輸関係、物流関係の求人数が、前年よりも1割強伸びていることから、来月以降も伸びに期待している。ただし、全体の落ち込みをカバーできるほどでもないで、全体的には今の傾向が続く。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が前年を下回る傾向が続いていることから、今後もこの傾向がしばらく続く。
		職業安定所（職員）	・国の追加経済対策等により、景気の底入れ感はあるが、雇用情勢については、引き続き厳しい状況が続く。
		学校〔大学〕（就職担当）	・全国の企業、大学が参加する研修会において情報交流を行うなかで、企業の今後の採用意向を確認したが、意向を持つ企業は2～3社にとどまっている。特に、北海道における採用見通しは、特定の業界では再検討の余地があるものの、多くの学生が志望するような業界は明らかに終了しており、今後も厳しさが続く。
		やや悪くなる	職業安定所（職員）
	悪くなる	-	-